

最近の雇用情勢について

(令和7年9月)

青森労働局

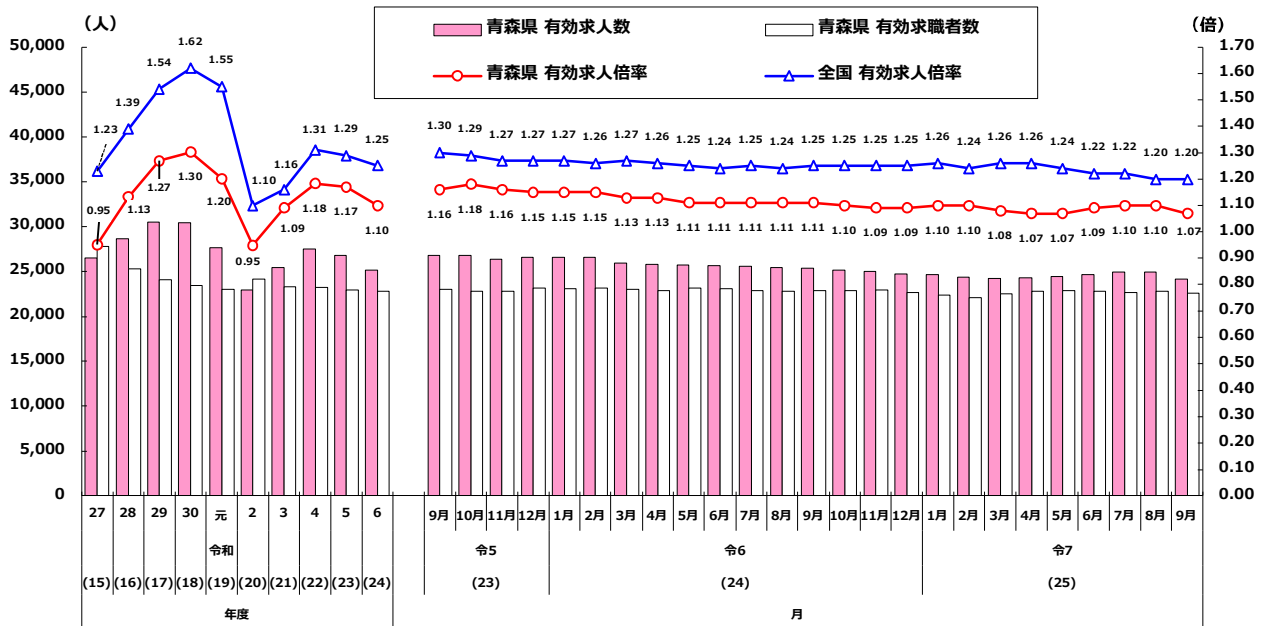
I 受理地別求人倍率の推移(季節調整値)・・・年度平均は原数値

職業安定部

9月の一般職業紹介状況を見ると、有効求人数(季節調整値)は前月に比べ3.2%(802人)減少の24,164人、有効求職者数(同)は前月に比べ0.8%(173人)減少の22,581人で、有効求人倍率(同)は1.07倍となり前月と比べ0.03ポイント低下した。

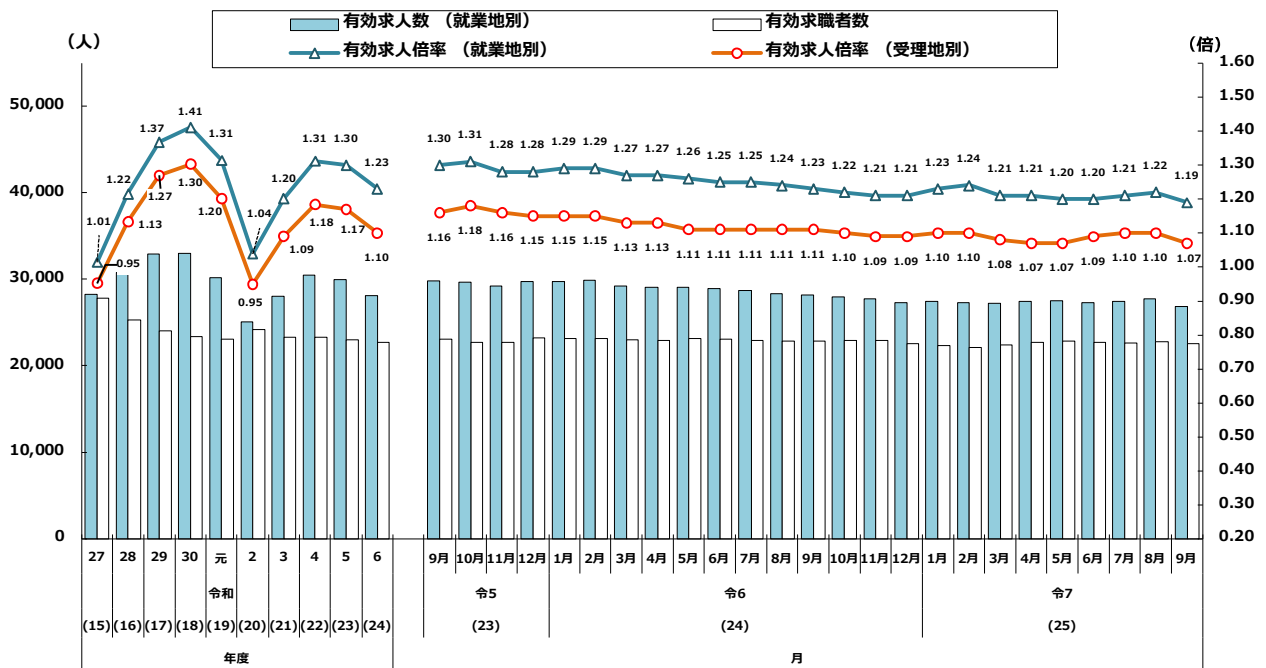
就業地別の有効求人倍率(季節調整値)は1.19倍で前月と比べ0.03ポイント低下し、受理地別の倍率を0.12ポイント上回った。

受理地別有効求人倍率の推移 (全数・季節調整値)



※ 県内のハローワークで受理した求人数から求人倍率を算定。

就業地別有効求人倍率の推移 (全数・季節調整値)



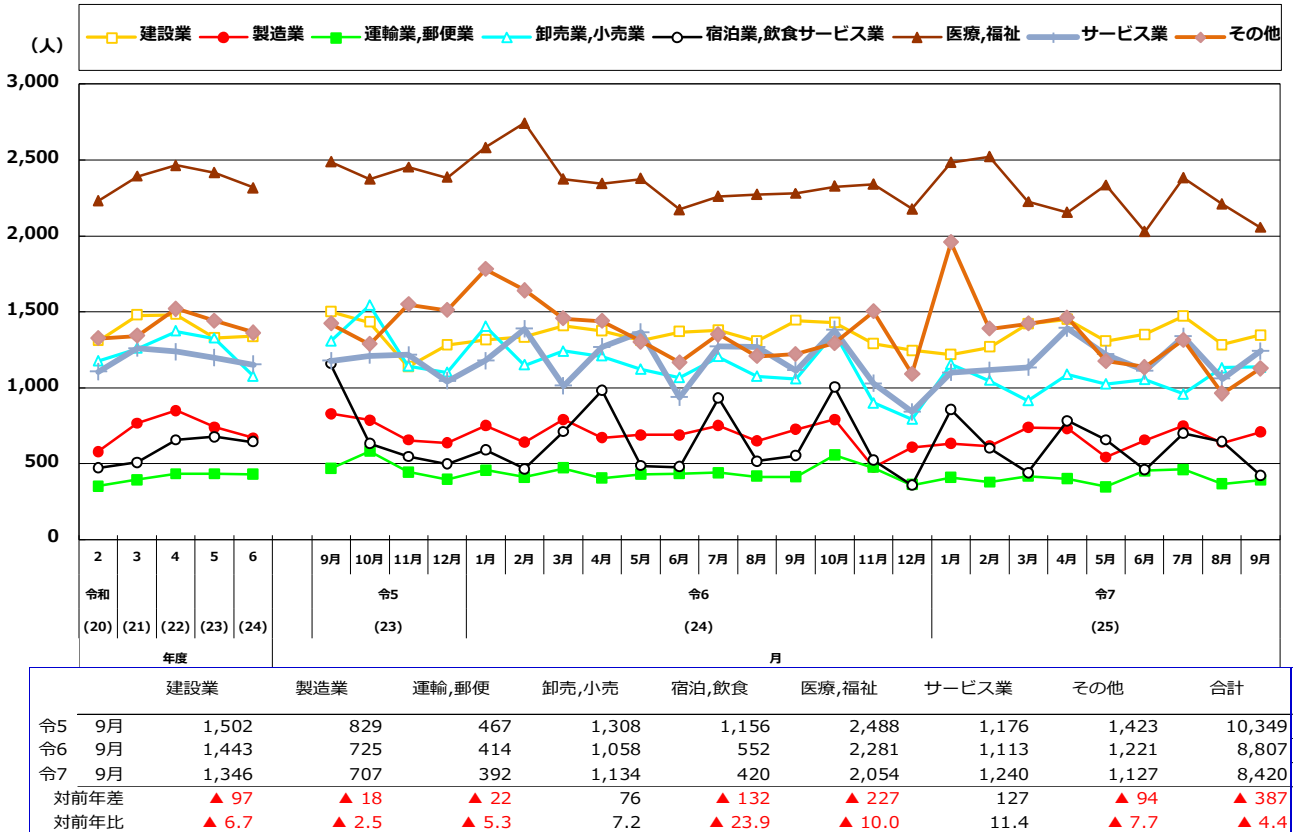
全国のハローワークで受理した求人で、就業地が青森県内となっている求人数から求人倍率を算定。
就業地として複数の市町村が挙げられている場合は、求人数を該当の市町村に割り当てることにより集計。

(注) 季節調整法はセンサス局法Ⅱ(X-12-ARIMA)による。なお、令和6年12月以前の数値は、令和7年1月分公表時に新季節指数により改定されている。

Ⅱ 新規求人の状況(学卒を除きパートタイムを含む)

9月の新規求人数(原数値)は前年同月比4.4%(387人)減少の8,420人。

主要な産業の新規求人数(原数値)をみると、前年同月との比較で建設業、製造業、運輸業、郵便業、宿泊業、飲食サービス業及び医療、福祉で減少し、卸売業、小売業及びサービス業で増加した。なお製造業のうち、食料品製造業、飲料・たばこ・飼料製造業、金属製品製造業等で減少し、化学工業、石油製品・石炭製品製造業、プラスチック、ゴム製品製造業、業務用機械器具製造業、電子部品・デバイス・電子回路製造業等で増加した。

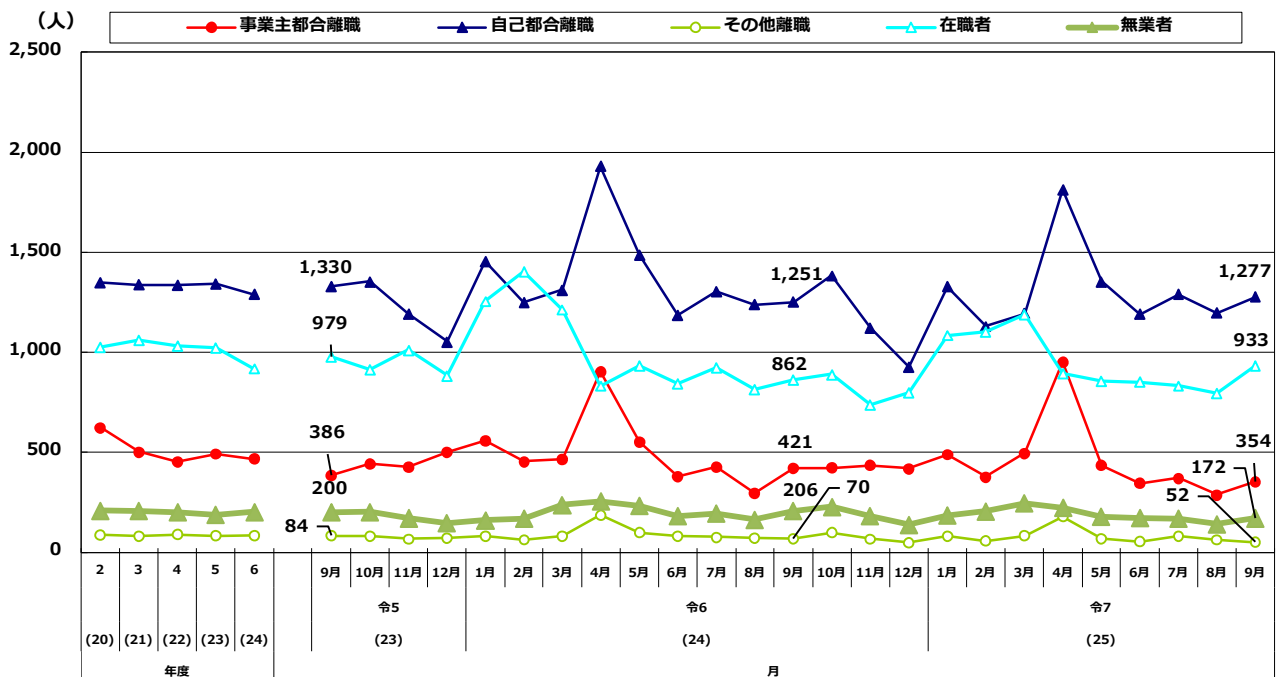


Ⅲ 新規求職の状況(パートを除く常用)

9月の新規求職者数(パートを除く常用・原数値)は、前年同月比0.8%(22人)減少の2,788人。

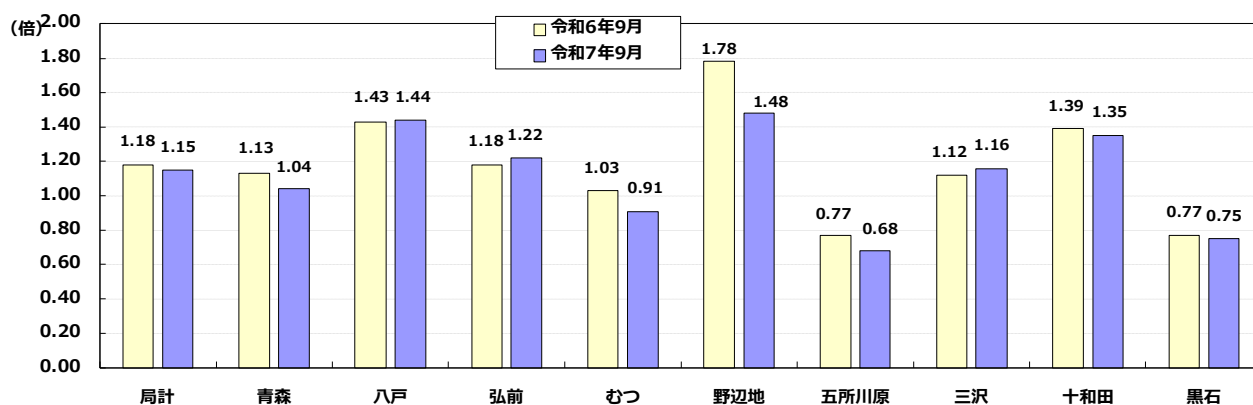
区分ごとに前年同月と比較すると、在職者は8.2%(71人)増加の933人、離職者は3.4%(59人)減少の1,683人、無業者は16.5%(34人)減少の172人であった。

離職理由別では、事業主都合離職は前年同月15.9%(67人)減少の354人、自己都合離職は前年同月2.1%(26人)増加の1,277人、その他離職(自営廃止等)は前年同月25.7%(18人)減少の52人であった。



Ⅳ 安定所別有効求人倍率の状況(学卒を除きパートタイムを含む全数・・・原数値)

9月の局計の有効求人倍率(原数値)は1.15倍となり、前年同月より0.03ポイント低下した。
各安定所の有効求人倍率は次のとおり。



令和7年9月	局計	青森	八戸	弘前	むつ	野辺地	五所川原	三沢	十和田	黒石
有効求職者数	21,490	5,434	4,925	3,795	1,005	760	2,048	1,286	1,034	1,203
有効求人数	24,623	5,676	7,078	4,639	916	1,124	1,398	1,487	1,397	908
有効求人倍率 (前年同月比)	▲ 0.03	▲ 0.09	0.01	0.04	▲ 0.12	▲ 0.30	▲ 0.09	0.04	▲ 0.04	▲ 0.02

(単位：人)

Ⅴ 雇用保険の状況

9月の受給者実人員(基本手当基本分)は、前年同月比3.6%(208人)増加、前月比では0.9%(53人)増加の5,979人となった。また、受給資格決定件数は、前年同月比4.9%(59件)増加、前月比では20.4%(216件)増加の1,275人となった。※受給資格決定件数は速報値であり、修正の可能性があり得る。

資格喪失者(高年齢、短期特例被保険者を除く)のうち事業主都合は、前年同月比5.6%(12人)増加、前月比16.2%(44人)減少の228人となった。

